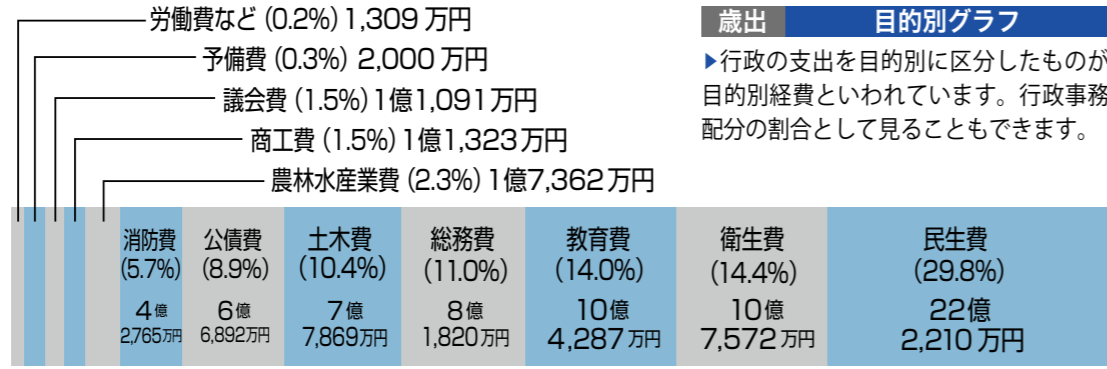


ワンポイント！ 費用が多いのは？

民生費が一番
一般的な地方自治体では、土木・教育・民生費の費用が多いといわれています。邑楽町の場合は、前年度比較で約33%土木費が減少しています。民生費が毎年支出割合の一番になっています。



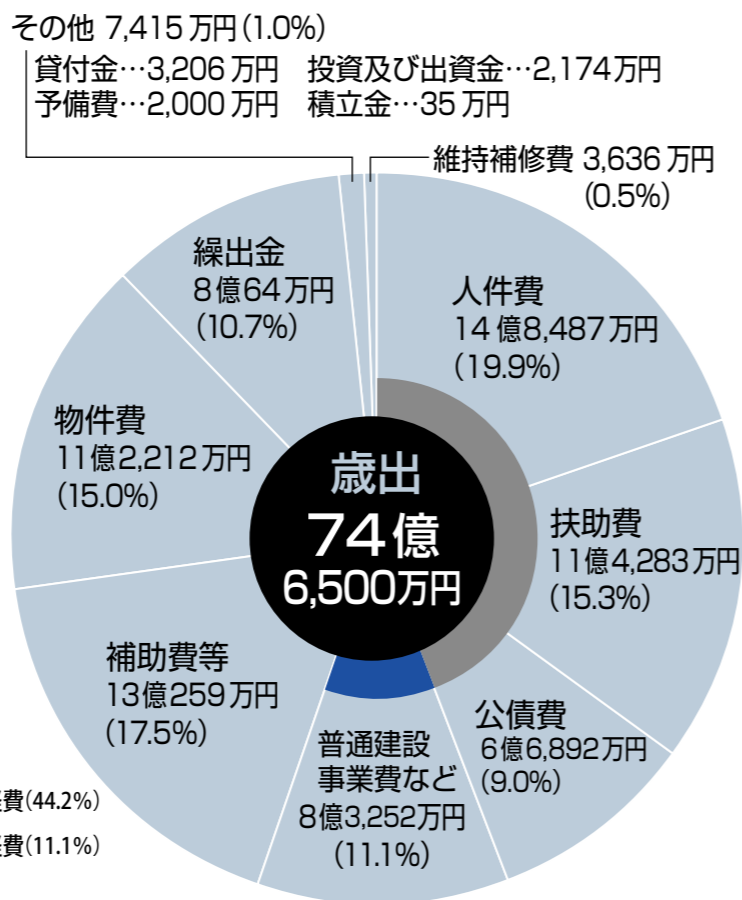
歳出 目的別グラフ

▶行政の支出を目的別に区分したものが目的別経費といわれています。行政事務配分の割合として見ることもできます。

お金の5.7%増加。公債費（借金を返すお金）は6億6,892万円（歳

▼目的別グラフと性質別グラフで一般会計の歳出を示しました。義務的経費が約33億円で歳出全体の44.2%を占め、前年度よりも4.3%上昇しています。義務的経費にあたる人件費は、14億8,487万円（歳出全体の19.9%）で前年度より0.7%増加。扶助費は11億4,283万円（歳出全体の15.3%）で前年度より5.7%増加。公債費（借金を返す

歳出 性質別グラフ



性質別経費▶行政の支出を経済的な性質別に区分したものが性質別経費といわれています。人件費・扶助費・公債費などは支出の削減が容易ではないため、義務的経費に分類されます。

ワンポイント！ 支出が法令などで決められた経費

義務的経費が増大すると…
▶義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が増大すると、財政の硬直化を招きます。邑楽町の義務的経費は、32億9,662万円。前年度より4.3%増加しています。
▶義務的経費が増加している理由には、扶助費の増加があげられます。扶助費は、高齢化率が高くなるにつれ今後も支出が増大していくといわれています。扶助費が人件費を上回る時代も、そう遠くないかもしれません。

▼目的別経費
民生費：主に高齢者、障害者、子ども、ひとり親福祉などに使われる経費です。
衛生費：ごみ処理や母子保健、検診などに使われる経費です。
教育費：学校や公民館など、教育施設の整備や運営に使われる経費です。
総務費：選挙や税金の徴収、戸籍・住民基本台帳費など、行政全般の事務などに関する経費です。
土木費：橋や道路、公園や排水路などの整備に使われる経費です。
公債費：町債（借金）の返済に充てられる経費です。
消防費：消防施設の整備費や、消防組合の負担金です。
農林水産業費：農家の支援や水路の整備など、農業振興に使われる経費です。
商工費：町内の商工業者などの支援に使われる経費です。
議会費：町議会の運営などに使われる経費です。
予備費：予期しなかった支出に対応するためのお金です。
労働費：雇用対策など、労働者の支援に使われる経費です。

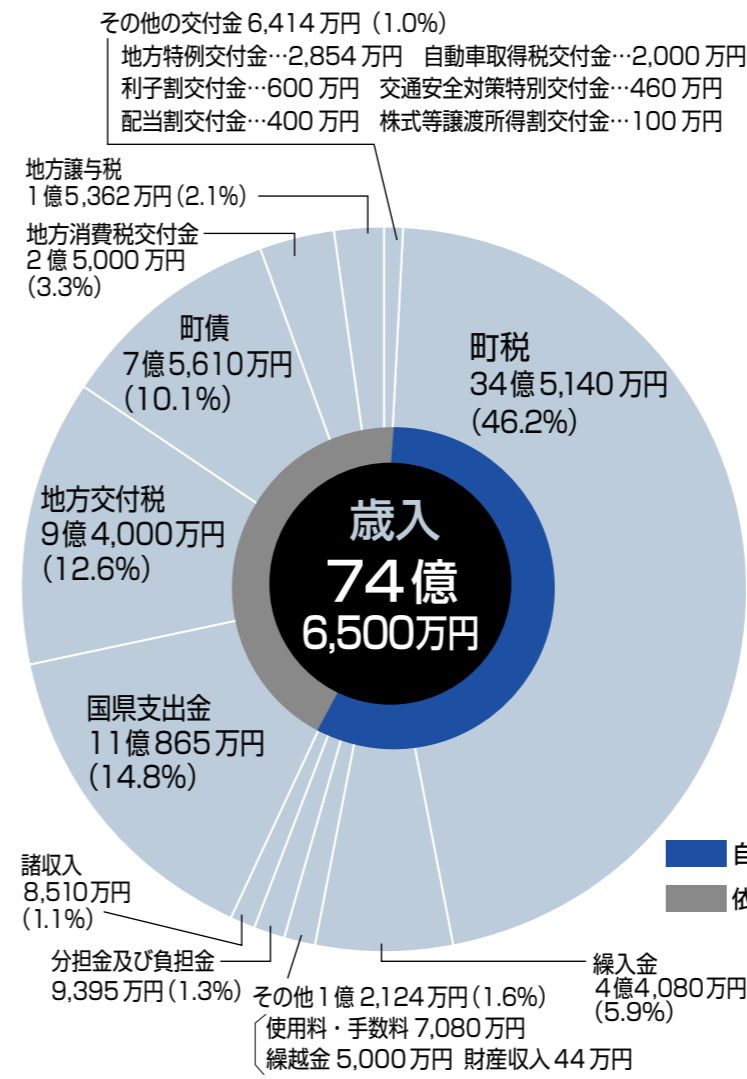
▼性質別経費
人件費：職員の給料や議員の報酬などとして使われる経費です。
扶助費：社会福祉、老人福祉、児童福祉生活保護費の費用として計上される経費。
公債費：町債（借金）の返済に充てられるお金です。
普通建設事業費：公共施設の新増設や道路、公園などを整備するための経費です。
補助費等：各種の補助金や負担金として使われる経費です。
物件費：備品の購入や事業の委託費などに使われる経費です。
緑出金：一般会計から特別会計に繰り出されるお金です。

邑楽町の平成25年度の予算規模は、74億6,500万円。前年度と比較して約1億5,700万円（2.1%）減少となりました。最大限効果的なまちづくり推進のため、これからも堅実的な予算執行に努めていきます。

堅実的な予算 執行を継続

前年度比較では、約1億5,700万円減

一般会計予算 74億6,500万円を計上



▼歳入 町の自主財源は約6割
町税は前年度比3.0%増
一般会計の歳入は、前年度より約1億5,700万円減少し74億6,500万円となっています。固定資産税や都市計画税の減収が見込まれる一方で、町民税や町たばこ税の増収が見込まれることから、町税の歳入を約1億37万円増額（対前年度比3.0%増）し34億5,140万円としています。繰入金については、前年度より8,288万円増額して約4億4,080万円を計上している

ます。これは公共施設等整備基金（町の貯金）などから繰り入れたものです。
町債（町の借金）については、前年度より2億1,670万円減少し7億5,610万円となっています。自主財源である町税収入は増加しているものの、依存財源の国県支出金が前年度よりも約1億4,400万円減少しているため、町の基金を繰り入れてもなお予算規模としては前年度の歳入よりも縮小しています。

ワンポイント！ なぜ、まちの財源は2種類？

自主財源と依存財源の違い
▶自主財源と依存財源は、自ら財源を確保できるかで区別されます。地方税、使用料・手数料、財産収入などが自主財源。国や県に頼ったものが依存財源といえます。地方交付税、地方譲与税、国県支出金、町債などがこれにあたります。
▶自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性が確保できます。本年度の邑楽町の自主財源は歳入の約6割で41億9,249万円です。

用語説明

【予算】特定の年度に、どのくらい収入を見込んでいるのか、何に支出するのかを見積もった計画です。
【一般会計と特別会計】一般会計は、特別会計以外の全ての自治体の仕事を経理する会計です。特別会計は、料金などで経営する事業活動を一般会計と分けて、それぞれ条例で設置して経理します。
【歳入】その地方自治体の会計年度（4月～翌年3月まで）の収入見込み額です。
【町税】町民の皆さんに納めていただく税金です（町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など）。
【繰入金】積立金（基金）の取り崩し金。預金を下ろすようなものです。
【国県支出金】国庫支出金と県支出金。国庫支出金は、市町村が行う特定の事業に対して国から交付される補助金。県支出金も、特定の事業に対して県から交付される補助金です。国県支出金は、あらかじめ使い道が決まっています。
【地方交付税】地方自治体の財政力に合わせ、国から配分されるお金。自治体間の貧富の差を少なくするための制度です。
【町債】町の借入金（借金）で、借り入れの期間が1年を超えるものをいいます。公共施設建設など一時的に大きな支出が必要などときや、将来の町民も経費を負担するものがふさわしい場合に、決められた手続きで借り入れるお金です。
※地方自治体の会計制度は、現金の出入りで整理をする現金会計といわれる方式なので、借金をしても現金が入ってくるという意味で収入として扱われます。
【地方消費税交付金】都道府県に納められた地方消費税の半分が、各市町村の人口や事業所の従業員数に応じて交付されます。
【地方譲与税】国が徴収した税金を地方自治体に配分します。使い道が特定されています。（例）自動車重量税

H25 本年度の注目事業をピックアップ

6つの分野から気になる事業をお届けします **2013**

※事業費…千円以下は四捨五入



町民の皆さんの健康を守るための病気予防対策 担当部署…保険年金課、保健センター

- ▶ **感染症対策・個別接種事業**…8,245万円
患者の早期発見と感染防止を図り、結核検診や予防接種法に基づく予防接種の普及に取り組みます。
- ▶ **健康診査事業**…621万円
健康増進法に基づき、健康づくりや疾病予防を推進します。歯周疾患検診や骨密度検診（女性）を実施し、健康づくりのための疾病予防意識の向上を図ります。
- ▶ **がん検診事業**…4,561万円
がんを早期に発見し、早期治療へつなげるため各種がん検診を実施します。国のがん検診推進事業を実施し、受診率の向上やがん予防の意識の向上を図ります。
- ▶ **妊婦健診事業**…1,559万円
妊婦の健康診査の受診券を14枚発行し、健康診査の際の負担軽減を図ります。



農業と商業活性化への取り組み

- 担当部署…産業振興課
- ▶ **人・農地問題解決推進事業**…80万円
高齢化や担い手不足、耕作放棄地などの問題に対処するため、人・農地プランの策定を進めます。
- ▶ **住宅リフォーム補助事業**…300万円
町民生活の利便と安全を向上させ、消費を促進させることにより、町内建築関連業者の振興を図ります。



防犯灯設置を推進

- 担当部署…生活環境課
- ▶ **防犯灯設置事業**…348万円
夜間の犯罪防止や、交通安全の確保などに役立つ街路灯照明の長寿命化と環境への配慮のためLED街路灯の導入促進を、今後も図っていきます。



未来を担う子どもたちの福祉の充実を図る 担当部署…福祉課

- ▶ **中央児童館改築事業**…1億2,098万円
現在の中央児童館は昭和55年に建築され築後33年が経過しており、老朽化が進んでいます。この児童館を改築し、子どもたちが放課後に安心して利用できる環境の改善と、耐震性を含めた安全性の向上を図ります。中央児童館の建築により、町内4か所に設置してある児童館の整備は完了します。
- ▶ **障害児通所支援給付事業**…4,751万円
身体や知的、発達に障害のある就学前や就学中の児童（手帳の有無は問いません）に以下のような支援を専門施設で行い、社会との交流促進などを図ります。
①日常生活の基本的動作の指導
②知識技能の付与と集団生活への適応訓練
③生活能力の向上のために必要な訓練



ハード・ソフト両面で充実した教育体制を推進 担当部署…町教育委員会(学校教育課)

- ▶ **長柄幼稚園改築事業**…1億9,320万円
今年度より、2か年事業で長柄幼稚園の改築工事に取り組みます。
- ▶ **英語指導助手設置事業**…1,242万円
小中学校に、担任・教科担当とチーム・ティーチングで授業を行う外国人講師を配置し、英語教育の充実に取り組みます。
- ▶ **臨時補助教員等配置事業**…8,514万円
幼稚園・小学校・中学校に臨時職員（学校指導助手・学校支援員・学校図書係・用務員など）を配置します。
- ▶ **教育相談事業**…759万円
これまで各中学校に配置されていた相談員を、今年度から各小学校にも配置。相談員は児童生徒や保護者から悩みなどの相談を受け、共にその解消を図っていきます。



道路・住宅・公園整備など住みよいまちづくりを推進 担当部署…都市建設課

- ▶ **町道整備事業(16-13号線)**…4,500万円
鞍掛第三工業団地と国道354号バイパスを結ぶ道路を継続して整備します。
- ▶ **町道整備事業(19号線)**…4,800万円
中野生協東の交差点から中央保育園北側の町道幹線18号線までを舗装し、一部供用開始を行う予定です。
- ▶ **おうら中央公園北広場整備事業**…3,600万円
- ▶ **町営住宅建設事業**…3億4,680万円
石打町営住宅建築工事の2期工事を開始します。
※平成24年度からの繰越事業です。
- ▶ **住宅等建築物アスベスト改修事業**…125万円
アスベストの含有調査を行う建築物の所有者などを補助し、民間建築物のアスベスト改修を促進します。

【募集】民間建築物アスベスト含有調査事業補助金 ●アスベスト含有調査事業を行う建築物の所有者などに補助金を交付します●

- ▶ **対象となる建築物** 町内にある民間の建物で、過去に同様の補助金を受けていない建物
- ▶ **対象者** ①～③全てに該当することが条件
①所有者または区分所有者団体（条件あり）
②国や地方公共団体などが設立、または出資などを行っていない法人
- ③同一棟の補助対象建築物で、要項に定める補助金を受けていないこと
- ▶ **補助金の対象額** 含有調査事業の費用で請負者に支払う額（1,000円未満切り捨て）対象建築物1棟につき上限25万円
- ▶ **申込方法** 役場都市建設課へ直接申し込む
- ※募集要項は役場都市建設課にあります。
- ▶ **募集期間** 6月10日(月)～12月20日(金)
- ※役場開庁時間に限りです。
- 【注意】 各種の条件がありますので、申請前に必ず役場都市建設課にご相談ください。
- ▶ **申請・問合せ先** 役場都市建設課 ☎47-5031

特別会計予算

医療費抑制が課題 前年度比較で1億1,123万円増 61億3,229万円を計上

特別会計	予算額	対前年度比較
国民健康保険	29億9,639万円	1億2,659万円
後期高齢者医療	2億318万円	-806万円
介護保険	17億100万円	5,112万円
下水道事業	3億1,226万円	1,653万円
学校給食事業	2億5,040万円	-2,430万円
水道事業	収益的収入	5億1,785万円
	資本的支出	1億5,121万円

特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理する会計が特別会計です。5つの特別会計と水道事業の企業会計に区分されています。

ワンポイント！ 特別会計とは？水道事業の企業会計とは？ 特別会計の基礎知識

▶ 特別会計は、公共料金や保険料など、主にその事業収入で歳出を賄うことが求められている事業を経理するための会計です。主に税金で賄う一般会計とは区別して経理します。
▶ 水道事業は、民間企業のようにその事業の利益（水道料金）などで経費を賄うことが原則になっています。民間企業に似た会計制度で経理しています。そのような会計は、地方公営企業法の適用企業会計（法適用企業会計）と呼ばれます。

▼ 特別会計については、全会計の合計が61億3,229万円となっています。前年度と比較してみて1億1,123万円（前年度比1.8%）増加しています。そのうち近年増加傾向にあるのが国民健康保険特別会計です。町の国民健康保険事業を経理している会計ですが、今年度は、29億9,639万円を計上。前年度と比較してみると1億2,659万円（前年度比4.4%）増加しています。高齢化や医療技術の高度化などによる医療費の増加により、国民健康保険財政は依然厳しい状況にあります。今年度も引き続き特定健診の受診率向上を目指し、特定保健指導を実施する中で、生活習慣病の予防や健康の保持増進を図り、医療費の抑制を推進していきます。介護保険特別会計は、高齢者のために介護サービスを提供するための介護保険事業を経理する特別会計です。今年度は17億100万円を計上。前年度より5,112万円（前年度比3.1%）増加しています。町では介護予防事業の各種教室を開催し、一人でも多くの参加を目指し、高齢者の皆さんが安心して生活を送れるよう支援します。

金子正一町長に聞く、平成25年度当初予算

まちの予算執行 堅実で適正な行政執行を目指します



● 金子正一町長

● **金子正一町長**
● **経常経費の抜本的な削減を掲げた三つの留意点**
▼ 平成25年度も引き続き、堅実な予算編成となるように努め、編成にあたっては次の三つの点に、特に留意しました。
① 経常経費（経常的な事務事業などの経費）などの削減を図り、効率的な財政運営へより一層努力する
② 節度を保った町債（借入金）の発行や、多様な補助制度を有効に活用するなど、依存財源（地方交付税や国県支出金など）の確保に努める
③ 町民の福祉を守り、景気浮揚に貢献するため、厳しい財政状況に配慮しつつも、可能な限り積極的な施策を盛り込む
● **事業の優先順位と必要性の観点から適切な予算配分を**
▼ 町税は、固定資産税や都市計画税の減収が見込まれる一方で、町民税や町たばこ税の増収が見込まれることなどから、34億5,140万円、前年度比較で30%増としました。
● **国からの地方交付税は、前年度と同額の9億4,000万円を見込んでいます。**
▼ 今後の景気動向は、いまだ不透明であり、当時の財政状況もこれまでに以上に厳しくなることが予想されます。国の国債依存度は限界を超えたとわれ、今後は、これまでのような地方への財政措置が確保できるかどうか不安も残ります。
そのため今後の予算執行については、これまで以上に事務事業の見直しや合理化が求められます。新たな時代に即応した行政のあり方を模索しつつも、「人にやさしい邑楽町」の視点を忘れない、堅実で適正な行政執行に努めてまいります。

これまで以上の事務事業の見直しと合理化を推進

町債については、前年度と比較して2億1,670万円（22.3%）減少の7億5,610万円です。そのうち臨時財政対策債（一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債）が5億6,000万円を占めています。公共施設等整備基金（町の預金）などから4億4,080万円を繰り入れました。
一般会計歳出について民生費では、老朽化した中央児童館の改築事業として1億2,098万円計上。土木費では、都市計画費を前年度より5,728万円増額した4億8,775万円を計上しました。
石打町営住宅建設の2期工事が前年度に前倒しとなったことから、住宅費は4億2,355万円減少の4,958万円となりました。教育費では、長柄幼稚園の改築事業として1億9,320万円を計上しました。